【R5 カリ用】「教職実践演習振り返りシート」記入方法

【目的】

この「教職実践演習振り返りシート」は、「教職実践演習」の授業の時点で、学生それぞれが自分の「大学での学び」を総合的に振り返り、相対化するための手がかりとするためのものである。

【記入の方法】

- 1) 氏名(フリガナ): 各頁それぞれに記入。
- 2) 学籍番号、類、コース・プログラム:1頁に記入。
- 3) 取得免許種:いわゆる「主免」について1頁に記入。
- 4) 実習校:いわゆる「主免」の「教育実習」(4年次)について1頁に記入。ただし「教育実習」を履修しなかった学生は「教育実習」(3年次)について記入。

副免のための実習については、「副免(選択実習含む) 自由選択等」欄に記入。

- 5) 「授業での学び」(1頁): 各カテゴリーでの自分の学びを振り返って、「特に学修過程で良かったこと」および「今後、修得すべきこと」を各項目に箇条書きで「数項目」程度書く。
- 6) 「授業外での学び」(2頁):大学の授業以外に、大学で学んでいる時期に体験したことの中で、 自分の今の成長に有益であったと思われること、あるいはその逆を書く。
- 7) 「大学での学び全体を振り返って」(2~3頁): それぞれの個別の学習内容ではなく、全体を 総合して考察する。「最終試験」のための課題整理の機会とする。
- 8) 振り返りシートは,本授業の中で2回,作成する。作成したものは第1回~3回の中で担当教員より指示があったときに提出する。そして,第14,15回では,本授業で学んだことを踏まえて最初に提出したものに加筆・修正を行い,再度提出する。2度目の提出の際には,3枚目の「大学全体の学びを振り返って」も作成する。(1度目の提出の際には,作成の必要はない)。提出の際には,必ずコピーを取り,提出したものを教職実践ポートフォリオに綴じこんでおく。

以上

[R5カリ用] 教職実践演習振り返りシート(3頁以内にまとめる)

	187.787	類		コース			1 11/14 77
	ガクゲイマルマル 			プログラ	取得免許種(主免)		小学校一種
氏 名	学芸	学生番号	23-		実習校(主免)	小金井市立	小学校
	科目群	特に学修過程で良かったこと		今後、修得すべきこと			
	教養科目	・初習語学に中 て中検2級取得 も実用力にも良	を目指したこと	が成績に	・自然科学系列の科目をは様々な事象がどのように相なところから考えるようにしい。	互に関連しているの	のかを身近
	教育創成科目	・子どもが置かれ応できる教師とな教育的ニースを深める科目やべる科目などを	なることを目標 をもつ子どもへ ICT等の先端打	とし、特別 への理解 支術が学	・個別最適な教育支援は、るところから始まると痛感しわけではない点に難しさはを通じてバランス感覚を養	,てきた。決まった解 :感じるが、理論と実	答がある
授業での学	教育基礎科目	・「教職入門」以「A」評価で自信・実習前に社会に取り組み、実	となった。 科の指導案づ	(りに懸命	・「教職入門」の学校参観の意を受けた。 ・「 教育法」の単位は傾ける学習方法にあったようニュースに目を通す習慣をい。	8得できたが、授業 な に関連する新	時間外にお 新聞や
び〔箇条書きで数項目程	専攻科目	・興味のある専門することで、基礎を獲得することで、 ・「カリキュー等意欲的に取り	を知識に基づい ができた。 ラム論」、「		・ 分野は自分の専門とで意欲的に学習し、活躍の・苦手分野の成績が芳しくであると感じるので必ず復・	フィールドを広げて なかったが、重要な	いきたい。 知識·技能
度記入する 〕	教育実習・	・教育実習で生方の指導を変を行い、今まですべなど良い経験・教育実習で利を中心としていますができ大きな自・・	気づかなかった 検ができた。 は、近くの公立 実習を行い、生 ぐら柔軟に進行	研究授業 ことに気 校で社会 :徒のリア	会科焦点化していた)だった	の区分が今ひとつ たので、少し視野を	不明確(社 広くすること
	卒業研究	・小学生の社会習校の児童たちて分析を行い、!	にアンケート部	間査を行っ	・採用試験後に本格的に取 方や分析が満足にできてい 索したい。		
	副免 (選択実習含む) 自由選択等	・副免として中- 民)を取得予定・選択(中高免) 校で行ったが、・	である。 の実習は附属		・履修単位が増えすぎて、対な計画を立てられるよう		があった。適

フリ	ガナ	ガクゲイマルマル	類		コース プログラ
氏	名	学芸	学生番号	23-	

	I	
	特に学修過程で良かったこと	今後、修得すべきこと
授業外での学び 〔記入枠内には可能な限り 多〈記入する〕	・小平市立 小学校のボランティアとして2年次から4年次まで、おおよそ週二回、放課後補習等を継続的に実施した。 ・3年次に語学研修で4週間、華東師範大学で中国語を学んだ。 ・20XX年秋に東京学芸大学で行われた東アジア教員養成国際コンソーシアムのシンポジウムで、中国語のガイドを務めた。	

大学での学び全体を振り返って (記入枠内には可能な限り多く記入する)

・ 類 コースは、特定の教科にウエイトを置いていないので、教科専門の学習が他の学生に比べて足りないかと心配している。

・小学生とふれあう機会は豊富だったが、その経験をどこまで深められているか、その意味や教育実践の課題としてどういうことなのかがつかめていない。 課題だと思う。

.

教職実践演習開始時

フリ	ガナ	ガクゲイマルマル	類		コース プログラム
氏	名	学芸	学生番号	23-	

<u> </u>						
大学での学び全体を振り返って 〔記入枠内には可能な限り多〈記入する〕						
	・グループ討議で、自分の教育実習での経験だけでな〈メンバーの経験や悩みも聞〈ことで、課題を整理できた。					
	・ディスカッションの中で、 の浅さを感じた。	コース(分野)の学生に比べて、専門の深さが足りないことを痛感した。自分の授業づくり			
	・若手教師の経験談と実践の工夫は・・・・・という点で、参考になった。それを参考にして、自分らしい教師になりたいと思った。					
	•					
	<u>*「最終試験」への準備としての課題整理とする。</u>					
教 職						
実 践 演						
教職実践演習終了時						
時						